

患者さまと吉島病院を結ぶ情報紙



看護部新人研修会



### 『入院基本料7対1看護配置』について

看護部長

柳原 享子



看護部には、平成19年4月の時点で、看護師138名、他の看護職と合わせれば、166名が在籍し、病院の中で一番大きな組織です。看護部の質が、病院の質を左右すると自負している反面、責任も感じています。

さて、今回は病棟の看護師配置についてご紹介いたします。平成18年度の診療報酬改定で、『入院基本料7対1看護配置』が新設されました。7対1とは、看護師一人が受け持つ入院患者数で決まる入院基本料について「患者7人に看護師1人」の看護配置基準を意味します。手厚い看護で、すこしでも入院患者さまに満足な医療が提供できるように創設されたものです。一般病棟で、今まで最高だった10対1を大幅に上回る入院基本料が診療報酬から支払われるので、多くの病院が看護師確保に動いたことが、新聞やNHKなどマスコミでも取り上げられ、皆様のご記憶にも新しいと思います。

当院も急性期病棟である第3・第4病棟の7対1看護配置に取り組み、昨年の6月から看護師募集のためのリクルート作戦を行いました。患者さまはもとより、看護学生に選んでもらえる病院であることは、重要なことです。当院看護部の強みは、①新人教育の充実、②健康管理センター、外来、4つの特徴ある病棟、手術室、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所での看護職の活躍、③良好な人間関係・職場環境等です。

お蔭様で、優秀な看護学生あるいは、既卒の看護師が多数集まり、25名の看護師を採用することができ、5月からの届出が終了しました。

現在、平成19年度の看護部目標の一つである、〃新人教育に全員で取り組む〃を実践しているところです。

今後は、7対1看護配置の意義を十分理解し、配置に見合う安全で、きめ細かい看護を提供できるよう努力していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### “わかば” 26号 もくじ

『入院基本料7対1看護配置』について……………	1	シリーズNST—第1回—……………	3
新しい超音波診断装置について……………	2	食中毒予防について……………	3
平成18年度手術実施症例数……………	2	オーダーリングシステムについて……………	3

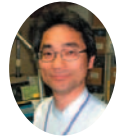
#### 患者さまの権利と責任

1. 個人の尊厳は尊重され、最善で平等な医療を受ける権利を有します
2. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を有します
3. 治療に関する方法を、自己の意思で決定する権利を有します
4. 個人の情報(プライバシー)が、保護される権利を有します
5. 医療関係者との信頼関係に基づき、医療への参加の責任を有します

# 新しい 超音波診断装置 について

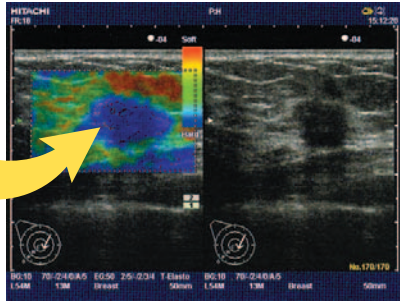
医療技術統括科長  
超音波室

金廣 伸夫



このたび新しい超音波診断装置(エコー装置)日立メディコ社のEUB-7500を購入しました。この装置には、新しい機能がふたつ付いています。まずひとつは、「エラストグラフィ」という機能があります。主に乳腺に腫瘍のようなものがあった場合、この「エラストグラフィ」の機能を使うと、その色の状態によって、悪性に近いかどうか、参考にすることが出来ます。もちろん、これですべてがわかるわけではありませんが、ひとつの判断として使用しています。

次にふたつ目の機能として「RVS」というものがあります。これは、あらかじめ検査したCTの画像を、立体的にエコーの装置に取り込んで、検査中のエコー画像と同じように、CTの画像も動かすことができる機能です。つまりエコーとCTの両方の画像を、同時に同じ断面で見ることができるようになります。このことにより、肝臓などに腫瘍があった場合、それぞれの画像を参考にしながら、より正確にその場所を観察することが出来ます。このように新しい機能を使用することで、エコー検査の診断能力向上に努力しています。



乳がん(硬がん)の超音波画像

## 超音波検査料金

3割負担の場合(診察料等は別)

腹部	約1,600円
乳腺	約1,000円

**外科手術**【手術総数：236件】呼吸器…88例・消化器…55例・甲状腺…37例 他  
施設基準に適合している手術  
(肺悪性腫瘍手術等)

術式	件数
肺悪性腫瘍手術	26
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	17
胸郭形成術	1
膿胸胸膜、胸膜肺胝切除術	3

左記以外の手術

術式	件数
胸腔鏡下肺切除術	41
甲状腺悪性腫瘍手術	37
直腸・結腸切除術	20
胆嚢摘出術(腹腔鏡下含む)	19
胃切除術	16
その他の手術	56

**眼科手術**【手術総数：409件】  
施設基準に適合している手術  
(黄斑下手術等)

術式	件数
黄斑下手術	1
硝子体茎頭顕微鏡下離断術	94
増殖性硝子体網膜症手術	2

左記以外の手術

術式	件数
水晶体再建術	271
緑内障手術	12
硝子体置換術	7
その他の手術	22

**整形外科手術**【手術総数：86件】

術式	件数
骨折観血の手術	19
人工骨頭挿入術	3
椎間板摘出術	3
手根管開放手術	3
関節形成術	4
椎弓切除術等	17

術式	件数
骨内異物除去術	8
神経剥離術	4
半月板切除術	2
人工関節置換術	2
その他の手術	21

## 手術実施症例数

平成18年

(期間平成18年1月～平成18年12月)

当院では厚生労働大臣が定める施設基準に適合している手術として広島社会保険事務局に届出を行っております。

平成19年4月 吉島病院長







吉島病院 NST 委員会  
 栄養科 主任  
 池浦 哲也



第1回 NSTとその役割

《NSTとは》

低栄養などの栄養管理が必要な患者さまに対し、医師・看護師などの専門スタッフが知識や技術を出し合い、安全で効果的な栄養療法の提供を行ない、健康が早く回復（維持）できるように支援するチーム医療です。当院では、2005年4月に設立され、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・栄養士・医事課職員の13名のメンバーにより活動が開始されました。

《NSTの役割》

- 1 全入院患者さまに対し栄養管理が必要か否かを判定し、栄養管理が必要な患者さまには、個々に応じて適正な栄養管理法の指導・提言を行う。
  - 2 食事摂取量の少ない患者さまには嗜好や食事形態などの希望を伺い喫食率が上がるよう献立・調理の工夫などを行う。
  - 3 必要に応じて栄養補助食品などを追加し不足した栄養を補う。
  - 4 栄養状態の改善を図り、早期退院や社会復帰の手助けを行なう。
- 今年でNST活動も3年目となります。今後も患者さまの病気の回復の一助となるようメンバー一同活動して参りたいと思っております。



食中毒予防について

栄養科

友保 智恵子



【食中毒】とは

飲食物などを介して体に入った病原菌や有害・有毒な物質が原因で起こる健康被害全般をいいます。

- 主な症状としては  
 ①腹痛、下痢 ②嘔吐  
 ③発熱などです。

食中毒の85%以上は腸炎ヒブリオ・サルモネラ菌、病原性大腸菌、カンピロバクターなどの細菌性食中毒です。また1年の中で、6月〜10月が食中毒の発生件数が多くなっています。

【食中毒が

増える条件】

- ①栄養分、②水分、③時間この3つの条件がそろえば食中毒菌はどんどん増えます。

【食中毒予防の三原則】

加熱！



加熱は食品の中心まで十分に行いましょう！

迅速！



食中毒菌に増殖する時間を与えない!!

清潔に!



手や調理器具はしっかりと洗浄・消毒しましょう!

再来受付機

会計課 主任

山本 忠



当院では、オーダーリングシステムを平成19年2月に病棟、続いて3月には外来へ導入致しました。外来診察室、病棟のコンピュータ、正面玄関の『再来受付機』を導入し外来受付情報や、病棟の看護情報を管理する事を行っています。

従来、患者さまにお薬、注射を処方させて頂く場合に、紙の伝票により運用していましたが、システム導入によりコンピュータに直接入力するようになりました。これにより転記ミスの防止を行い医療安全の確保が促進され、情報伝達がスムーズとなり待ち時間の短縮が行われ、さらに情報の共有化が図れます。

システムの導入当初は、患者さまには、『再来受付機』の使い方に戸惑いを感じられたり、外来、病棟のコンピュータに入力する職員を見られて、何をしているか疑問に思われた方もいらっしゃったと思います。そこで、こういったシステムを導入する事で、よりいっそう患者さまへ安全な医療提供サービスの向上を図りますので、今後ともご協力をお願い致します。

